

(参考資料) 令和3年度 主要施策の成果に関する報告書 主要事業の前年度比較等

【政策企画部門】

(単位 千円)

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ数
1	電源立地促進対策事業 (政策調整課)	4,271,918	4,313,907	41,989	契約電力実績の増等 41,989	(事業の成果) 原子力発電施設等周辺8市町村の住民や企業等に対する給付金の交付等により、電源立地地域の振興及び住民の福祉向上に寄与。 (今後の課題) 交付金の交付対象施設の追加や交付対象地域の拡充などの制度見直し。	R3:25 R2:23
2	茨城県北クリエイティブプロジェクト事業 (県北振興局)	32,202	60,484	28,282	起業型地域おこし協力隊隊員数の増による報償費、活動経費等の増 28,282	(事業の成果) 県北地域において、起業型地域おこし協力隊11名が地域振興に資する起業活動を実施。地域での化学反応が起こるとともに、隊員間ネットワークが拡大・強化。 (今後の課題) 地域を巻き込みながら起業に結び付けられる質の高い人材の確保。	R3:26 R2:25
3	県北ニューツーリズム推進事業 (県北振興局)	42,481	65,701	23,220	信金中央金庫からの寄付を活用したPR事業等実施による増 10,000 整備延長の増に伴う整備費の増 13,220	(事業の成果) ロングトレイルコースの一部区間(約39km)を開通させ、約8,349人(推計値)が来訪し、交流人口の拡大に寄与。 (今後の課題) トレイル環境を活かした誘客促進や、将来的な維持管理体制の構築。	R3:26 R2:25
4	カーボンニュートラル産業拠点創出推進事業 (地域振興課)	-	20,000,000	20,000,000	カーボンニュートラル産業拠点創出推進基金の創設による増 20,000,000	(事業の成果) 「カーボンニュートラル産業拠点創出推進基金」を創設し、新エネルギーのサプライチェーン構築につながる大規模な設備投資などに対する支援体制を整備。 (今後の課題) カーボンニュートラル社会における高い競争力を持つ新産業の創出に向け、新エネルギーの導入や官民連携した取組を推進。	R3:28 R2:-

(単位 千円)

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ数
5	カシマサッカースタジアムの管理運営 (地域振興課)	895,951	650,276	△245,675	スタジアム修繕工事費等の減 △265,475 スタジアムの在り方調査検討業務委託の増 (R3新規) 19,800	(事業の成果) 給排水消火配管修繕工事等の必要な修繕工事を行うとともに、スタジアムの民間活力の導入可能性について調査検討を実施。 (今後の課題) 屋根鉄骨工事等スタジアムの計画的な修繕工事の実施や、スタジアムを核とした広域連携などの検討を推進。	R3 : 29 R2 : 27
6	つくば国際会議場の管理運営 (地域振興課)	168,534	208,338	39,804	音響設備修繕及び映像備品購入等による増 39,804	(事業の成果) 速やかな設備修繕と備品購入等により、施設利用者の安全を確保するとともに、利便性を向上。 (今後の課題) 長期修繕計画に基づき計画的に修繕を実施。	R3 : 30 R2 : 28
7	《新型コロナウイルス感染症対応》 つくば国際会議場の管理運営 (地域振興課)	61,863	53,680	△8,183	コロナによる催事中止に伴う利用料金の返還等の減 △61,863 大ホール映像設備デジタル化に伴う増 53,680	(事業の成果) 大ホール映像設備のデジタル化により、コロナ禍で多様化した利用形態に対応。 (今後の課題) 映像設備を活用したweb・ハイブリット会議等の誘致による施設の利用促進。	R3 : 30 R2 : 28
8	わくわく茨城生活実現事業 (計画推進課)	4,569	43,160	38,591	支給要件拡大(テレワーク要件追加等)による支給件数の増 38,591	(事業の成果) 移住支援金の支給(世帯33件、単身35件)により東京圏からの移住を促進。 (今後の課題) 就業要件の適用対象となる移住支援金対象法人の拡大等による更なる制度活用。	R3 : 32 R2 : 31
9	《新型コロナウイルス感染症対応》 あつまれ茨城テレワーク移住促進事業 (計画推進課)	-	40,037	40,037	移住促進PRの展開 40,037	(事業の成果) PRページによる情報発信や移住体験ツアー実施により、東京圏からの移住を促進。 (今後の課題) 市町村と連携した効果的な情報発信の展開。	R3 : 32 R2 : -

(単位 千円)

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果、今後の課題	参照ページ数
10	バス路線維持確保支援事業 (交通政策課)	139,038	151,227	12,189	地域間幹線系統補助申請金額増加による増 12,189	(事業の成果) 2市町が運行する4系統およびバス事業者4社が運行する41系統の維持・確保。 (今後の課題) 事業者、県、市町村等による利用促進の取組を通じた、各系統の生産性向上。	R3:34 R2:34
11	都市間高速バスネットワーク強化事業 (交通政策課)	82,591	60,466	△22,125	事業者への補助金の減 △22,125	(事業の成果) コロナ禍においても通勤通学利用が定着。 R1.10月の増便後、R3.9月までの2年間で延べ約111,600人が利用。 (今後の課題) 新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底及び更なる利用促進に向けた取組の実施。	R3:34 R2:34
12	《新型コロナウイルス感染症対応》 行政情報ネットワーク整備運営 (情報システム課)	—	276,511	276,511	モバイル端末1,930台及び貸出用端末100台の購入 276,511	(事業の成果) モバイルワークに適した小型端末の導入により、新型コロナウイルス感染症まん延時の業務継続及び職員の感染予防に寄与。 (今後の課題) なお一層の新型コロナウイルス感染症対策の推進と働き方改革に寄与するために、機器及びシステムの整備を実施。	R3:36 R2:—
13	《新型コロナウイルス感染症対応》 DXイノベーション推進プロジェクト事業 (情報システム課)	—	233,095	233,095	DXイノベーション推進プロジェクトの実施による増 233,095	(事業の成果) 10のプロジェクトについて、効果検証を行った結果、新商品・新サービスなどのビジネスプランの熟度が向上。 (今後の課題) 県民生活の利便性向上や産業の活性化を図るため、ビッグデータやAI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)などのデジタル技術の一層の活用。	R3:40 R2:—
14	令和3年経済センサス-活動調査 (統計課)	8,445	120,615	112,170	周期調査(5年毎)の実施による増 112,170	(事業の成果) 全ての産業分野における事業所の経理項目等の経済活動を把握。 (今後の課題) 長期時系列データなどの統計データの整備及び利活用の促進並びに令和4年経済センサス-基礎調査の着実な実施。	R3:41 R2:41